

宮古 毎日新聞

地域滞在観光を体験

モニターツアーが来島

団塊世代の誘客促進へ

団塊世代をターゲットに、宮古の資源を活用した体験滞在型観光の可能性を探るモニターツアー(主催・宮古島市)の一行が二十日、来島した。「五感リフレッシュin宮古島」と銘打ったツアーの参加者は、関東を中心に十八人。一行は三泊四日の日程で、宮古島を体感する。同体験滞在型観光は、モニター調査の結果を参考に、メニューを開発し売り込む。

今回のモニターは、国土交通省の「健康長寿社会の実現に向けた地域滞在型観光推進方策に関する調査」事業を宮古島市

が受託し、東京都の外部団体「東京都老人総合研究所」と、市の姉妹都市「世田谷区」の連携で実施した。市は今後、世田

谷区の住民を中心に、ツアー客を募ることにしている。一行は正午すぎに宮古

宮古島市長や、市職員らが出迎えた。民謡の生演奏の中、参加者全員に、ハイビスカスのコーシュをプレゼント

した。伊志嶺市長は「宮古にはほかにはない地下ダムや、美しいサンゴ礁、白い砂浜などがある。滞在中にリフレッシュし、良い旅にしてください」と歓迎した。

参加者の一人で今回のモニター募集に協力した



宮古島の文化や農業などを体験するモニターツアーの参加者—20日、宮古空港

沖慎一さん(世田谷・認知症予防活動交流会事務

局)は、「島の皆さんと話すのが、一番の楽しみ。